

京奈和自動車道の早期供用について

【担当省庁】国土交通省

各市町村における取組

(現状・課題)

京奈和自動車道は関西大環状道路の要であり、地域間交流の促進と地域連携の強化を図るために不可欠な道路である。

また、専用部と併せて整備される一般部についても、沿線の優れた自然や歴史・文化資産を生かしたまちづくりや地域の渋滞緩和、安全な道路交通の確保等取り組みがなされているところである。

現在、橿原北IC～橿原高田IC、奈良北IC(仮称)～郡山下ッ道JCTがミッシングリンクとなっており、専用部の供用開始に伴い企業立地が進んだこと等により交通需要が増加したことから、特に橿原北IC～橿原高田IC区間は、渋滞が慢性化している。

大和御所道路専用部御所区間は、平成29年8月19日に御所南IC～五條北IC間が開通し、令和3年4月には(仮称)橿原JCT大阪方面接続ランプの令和8年開通予定が示されるなど、整備が進められているが、一般部については、橿原高田IC～御所IC及び玉手交差点南～御所南IC北が未整備区間となっており、地域連携・活性化の効果が十分発揮されていない。また、生活道路への通過交通の流入による歩行者の安全の問題など、地域住民の生活環境へも大きな影響が及んでいる。

御所南ICは和歌山方面へ乗入れが出来ない為、利用者から改善要望が多く寄せられている。

一般部未整備区間 橿原高田IC～御所IC

一般部未整備区間 玉手交差点南～御所南IC北

部分整備による線形不良



歩行者の安全性に問題



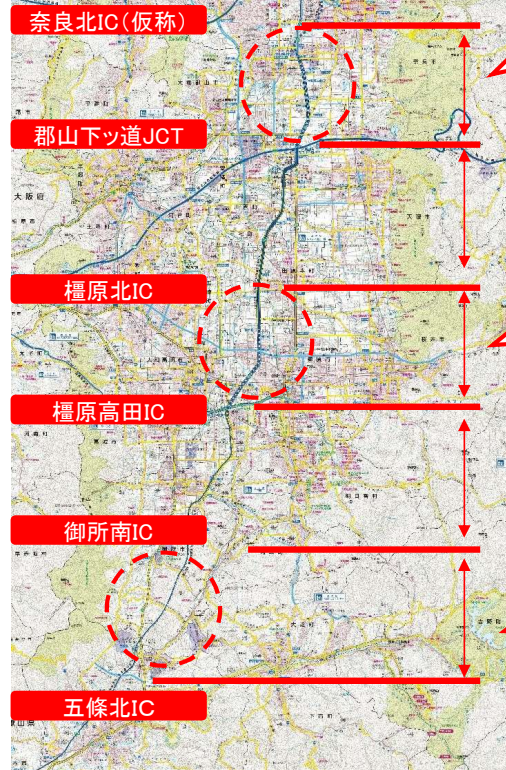
玉手交差点 南向き



御所南IC 北向き



京奈和自動車道の整備区間図



杏町交差点付近の渋滞状況



国土交通省報道資料より

橿原高田IC北側付近の渋滞状況



御所南ICのフルIC化(現在、東側文化財調査中)



国にお願いすること

ミッシングリンクとなっている橿原北IC～橿原高田IC、奈良北IC(仮称)～郡山下ッ道JCTの両区間の整備は、一般部の渋滞緩和や周辺生活道路における交通安全対策とも連動し、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ地域経済の回復・発展や生活環境の改善につながるため、早期供用のため格段の御配慮をお願いします。

また、物流による経済効果や国土強靱化、円滑な交通対策に向け、

- ・一般部の早期整備
- ・御所南ICの早期フルIC化
- ・暫定2車線での供用となっている御所区間の4車線化の実現に向け予算の確保等、格段の御配慮をお願いします。